

モーセ⑨ 別の契約を与える

□モーセの信仰の手本

私があなただの前に置いた祝福とのろい、これらすべてのことがあなたに臨み、あなたの神、主があなただをそこへ追い散らしたすべての国々の中で、あなたが我に返り、あなたの神、主に立ち返り、私が今日あなたに命じるとおりに、あなたも、あなたの子どもたちも、心を尽くし、いのちを尽くし、御声に聞き従うなら、あなたの神、主はあなたを元どおりにし、あなたをあわれみ、あなたの神、主があなただを散らした先の、あらゆる民の中から、再びあなたを集められる。(申 30：1～3)

□前回までの振り返り

1. イスラエルは旅を続け、ヨルダン川の東、「モアブの草原」に宿営した。ヨルダン川の向こう岸は、約束の地である。いよいよ約束の地に入る日が近づいたが、メリバの水事件により、モーセはその地に入ることはできない。モーセの死期が近づいた。
2. モーセには**最後の任務**がある。任務は3つ。
 - ① **確認する：シナイ契約（モーセの律法）の確認**をし、民の前に、**律法の「祝福とのろい」**を置く。主と民との**誓約**に立ち会う。
 - ② **預言する**：約束の地に入ってからでもイスラエルは不従順を重ね、ついには、律法ののろいを受けて、世界離散するであろうと預言する。
 - ③ **別の契約を与える**：しかし主は、**アブラハム契約の約束に基づき**、必ずイスラエルを回復してくださる。そのことを明確にするために、シナイ契約（モーセの律法）とは**別の契約（土地の契約）**を民に与える。
3. 前回は、第二の任務「預言する」であった。イスラエルは将来、律法ののろいを受けて、世界離散すると預言された。今回は、第三の任務「別の契約を与える」である。聖書箇所は、申命記 29 章と 30 章。

□「モーセ⑨ 別の契約を与える」のアウトライン

1. 第三の任務の宣言（申 29：1）
2. なぜ、別の契約が必要なのか（申 29：2～29）
3. 別の契約の内容（申 30：1～14）
4. 結びのことば（申 30：15～20）

□モーセ⑨ 別の契約を与える（申命記 29 章～30 章）

1. 第三の任務の宣言（29 章 1 節）

申 29：1 これらは、モアブの地で、主がモーセに命じて、イスラエルの子らと結ばせた契約のことばである。ホレブで彼らと結ばれた契約とは別である。

- ホレブで彼らと結ばれた契約とは別・・・ホレブはシナイ山のある地域。シナイ山を「神の山ホレブ」（出 3：1）とも呼ぶ。「ホレブで彼らと結ばれた契約」とはシナイ契約（モーセの律法）である。
- 第三の任務では、シナイ契約とは別の契約がイスラエルに与えられる。

2. なぜ、別の契約が必要なのか（29 章 2～29 節）

(1) イスラエルは、民族全体としては、まだ信仰ある民とはなっていない（2～4 節）

申 29：2～4 モーセはイスラエルをみな呼び寄せて言った。あなたがたは、エジプトの地で、ファラオとそのすべての家臣たちとその全土に対して、主があな

あなたがたの目の前でなされたことをことごとく見た。すなわち、あなたが自分の目で見ただけの大きな試み、あの大きなしるしと不思議である。しかし、主は今日に至るまで、あなたがたに悟る心と見る目と聞く耳を与えられなかった。

(2) 荒野の旅 40 年は、イスラエルに主こそ神であることを教えるためであった（5～13 節）

申 29：5 私は四十年の間、荒野であな

あなたがたを導いたが、あなたがたが身に着けている上着はすり切れず、その履き物もすり切れなかった。

(3) しかし、【シナイ契約（モーセの律法）とのろいの誓い】を主と結ぶのは、荒野の旅を経験した今の世代だけではなく、荒野の旅を知らない将来の世代も、である。（14～15 節）

(4) 今日ここで主の前に立っている者たちの中から、万が一にも、主を離れて異邦の民の神々のもとに行き行って仕えるような者があってはならない。しかし将来、イスラエルが主を離れ、律法ののろいを受けて、世界に離散し、そのために約束の地が荒廃する日が来る。（16～29 節）

3. 「別の契約」の内容（30 章 1～14 節）

- (1) 世界離散したイスラエルが、主に立ち返り、主の御声に聞き従うなら、主はイスラエルを再び集め、約束の地に連れ戻す（1～4 節）

申 30：1～4 私があなたの前に置いた祝福とのろい、これらすべてのことがあなたに臨み、あなたの神、主があなたをそこへ追い散らしたすべての国々の中で、あなたが我に返り、あなたの神、主に立ち返り、私が今日あなたに命じるとおりに、あなたも、あなたの子どもたちも、心を尽くし、いのちを尽くし、御声に聞き従うなら、あなたの神、主はあなたを元どおりにし、あなたをあわれみ、あなたの神、主があなたを散らした先の、あらゆる民の中から、再びあなたを集められる。たとえ、あなたが天の果てに追いやられていても、あなたの神、主はそこからあなたを集め、そこからあなたを連れ戻される。

- (2) イスラエルが回復されると、どうなるか（5～9 節）

- ① 5 節 あなたの神、主はあなたの先祖が所有していた地にあなたを導き入れ、あなたはそれを所有する。
- ② 5 節 主はあなたを幸せにし、先祖たちよりもその数を増やされる。
- ③ 6 節 あなたの神、主は、あなたの心と、あなたの子孫の心に割礼を施し、あなたが心を尽くし、いのちを尽くして、あなたの神、主を愛し、そうしてあなたが生きるようにされる。
- ④ 7 節 あなたの神、主はあなたの敵に、あなたを迫害した、あなたを憎む者たちに、これらすべてののろいを下される。
- ⑤ 8 節 あなたは再び主の御声に聞き従い、私が今日あなたに命じる主のすべての命令を行うようになる。
- ⑥ 9 節 あなたの神、主はあなたのすべての手のわざ、あなたの胎の実、家畜が産むもの、大地の実りを豊かに与えて、あなたを栄えさせてくださる。
- ⑦ 9 節 まことに主は、あなたの父祖たちを喜ばれたように、再び、あなたを栄えさせて喜ばれる。

- (3) 回復の条件は二つ。第一に、イスラエルがモーセの律法を守ること。第二に、主に立ち返ること。（10 節）

申 30：10 これは、あなたが、あなたの神、主の御声に聞き従い、このみおしえの書に記されている主の命令と掟を守り、心のすべて、たましいのすべてをもって、あなたの神、主に立ち返るからである。

- イスラエルの人々が主のすべての命令を行うようになるのは、8 節（前

述 3. (2)の⑤) にあるように、回復されてからである。では、回復の第一条件【モーセの律法を守る】を成し遂げる「イスラエル」とは誰か？ ⇒ その啓示は 700 年後の預言者イザヤを通して「メシア」

(4) 回復の条件は、イスラエルにとって難しすぎるものではない (11～14 節)

申 30：11～14 まことに、私が今日あなたに命じるこの命令は、あなたにとって難しすぎるものではなく、遠くかけ離れたものでもない。・・・(中略)・・・
まことに、みことばは、あなたのすぐ近くにあり、あなたの口にあり、あなたの心にあつて、あなたはこれを行うことができる。

- ロマ 10：8b～9 「みことばは、あなたの近くにあり、あなたの口にあり、あなたの心にある。」これは、私たちが宣べ伝えている信仰のことばのことです。なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。

4. 結びのことば (申 30：15～20)

申 30：19～20 私は今日、あなたがたに対して天と地を証人に立てる。私は、いのちと死、祝福とのろいをあなたの前に置く。あなたはいのちを選びなさい。あなたもあなたの子孫も生き、あなたの神、主を愛し、御声に聞き従い、主にすがるためである。まことにこの方こそあなたのいのちであり、あなたの日々は長く続く。あなたは、主があなたの父祖、アブラハム、イサク、ヤコブに与えると誓われたその土地の上に住むことになる。

- あなたは、主があなたの父祖、アブラハム、イサク、ヤコブに与えると誓われたその土地の上に住むことになる・・・イスラエルが約束の地に住むことができるのは、アブラハム契約の約束だからである。主は真実な方、約束を必ず守る方である。アブラハム契約は、イスラエルの人々の行いによらず、無条件である。世界離散からの回復のためには、モーセの律法を守るという条件が付いたように見えるが、実はその条件は主がメシアによって成し遂げてくださる。イスラエルの人々はそれを信じるだけである。

□本日の確認のための設問

世界離散したイスラエルが、再び集められ、約束の地に住むための条件はどちらですか？

- イスラエルの人々がみな、モーセの律法を守る。
- イスラエルの人々がみな、イエスを神が遣わしたメシアであると信じる。